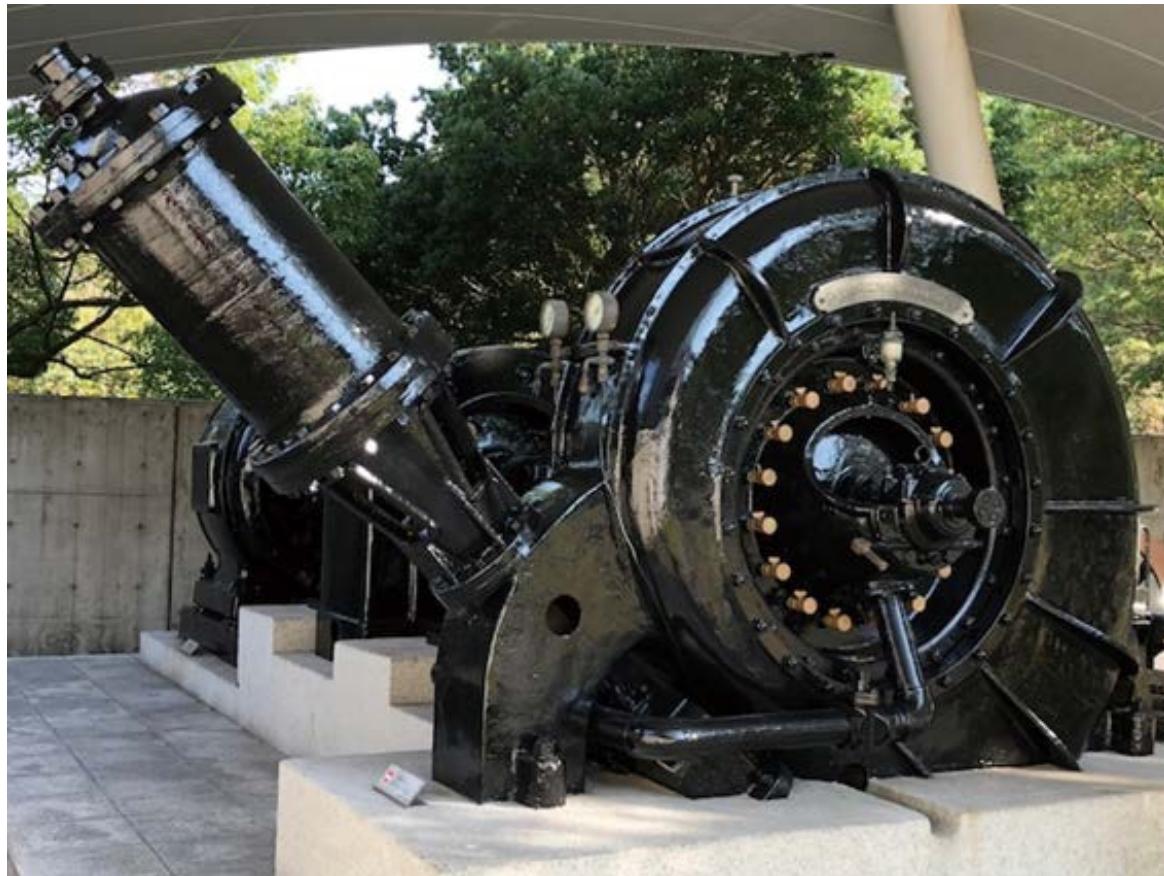




博物館だより

No.82 (2018.2.1)



おすすめの展示物 その2

平成29年度更新展示

「この展示、以前はありませんでしたよね？」

10月上旬、サイエンスショーが終わったあとお客様に話しかけられました。指をさした先にあるのは「光の魔法テーブル」。テーブルの上に実像が浮かぶ不思議を体験してもらえる、入ったばかりの展示です。

博物館では毎年新しい展示を入れています。平成29年度は「光の魔法テーブル」のほかに「愛媛県で記録されているクジラ」(4階・自然館)、「脳の年齢」(3階・科学技術館)、「光でお絵かき」(3階・科学技術館)を新しく設置し、「横置型単筒複動式コンプレッサー」「水車と発電機」(屋外展示場)の塗装をしました。また、3階・サイエンス工房前には特別展「VRスポーツサイエンス」でも人気のあった自分の周辺視野を体験できる展示「どこまで見える?」を11月に置きました。(写真:屋外展示「水車と発電機」)

屋外展示「水車と発電機」

楽しんでもらっている姿や展示にできる行列、SNSなどに載せていただいた写真を見ると、次年度の更新案やもっと楽しんで理解してもらうための工夫いろいろ考えてしまいます。什器の作成や設置・既存展示の修繕に携わると、各展示に愛着も湧きます。

博物館の展示物は非常に価値があるので、それに適した状態で安全に見ていただけるよう展示しています。展示方法の工夫にも注目してみると面白いと思います。初めて来館されるお客様はもちろん、声をかけてくださった方のような常連さんも、来るたびに新しい発見やわくわく体験のある博物館でありたいと思います。

企画普及グループ 高橋 智子

Index

話題	◆企画展「ホネホネミュージアム」紹介	2・3
	◆企画展「案外住んでる!身近な生き物」紹介	4・5
活動報告	◆企画展「東予産業遺産」、冬季特別イベント他	6・7
催し物のお知らせ	◆これからのイベント・博物館講座	7
	◆プラネタリウム ◆サイエンスショー	8
利用案内		8

二つの企画展を同時開催!
「ホネホネミュージアム」「案外住んでる! 身近な生き物」
期日: 2月24日(土)~4月8日(日) 場所: 企画展示室

企画展 ホネホネミュージアム

自然研究グループ 教育主任 稲葉正和

私たちの身体を支える骨。筋肉のように目に見えるものではなく、普段の生活の中ではあまり意識することのない地味な存在ですが、私たちの身体に欠かすことのできない重要な器官です。今回の企画展では、脊椎動物の進化の過程でその構造を様々に変化させながら動物の生活を支えてきた骨の役割について探ってみましょう。

この骨だーれだ?

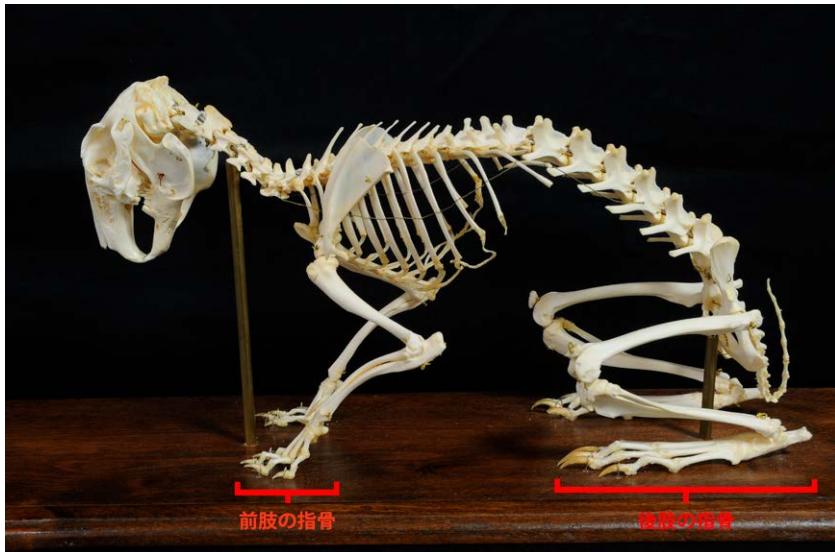


面長な顔、大きく発達した歯、長い前肢と後肢・・・、正解はイヌの骨です。イヌ科の動物の顔が長いのは、嗅覚が発達しているためです。イヌ科の動物は食肉目というグループに属しています。食肉目は、他の動物を捕獲してその肉を食べる動物です。

イヌの頭骨を観察してみましょう。獲物を捕殺するために大きく発達した犬歯（上の赤矢印）、肉や骨を切断するために発達した臼歯（裂肉歯）（下の赤矢印）を観察することができます。イヌは四肢が長く発達し、踵は地面に接地しておらず、いわゆる爪先立ちで走っている形になります。これは、獲物を追いかけて捕らえるためです。獲物を追いかける際に方向転換が容易に行えるよう、尻尾も長く発達しています。同じ食肉目に属するネコ科の動物では、獲物を捕らえるための爪を備えており、より殺傷能力を高めています。



この骨だーれだ?



長く伸びた歯、前肢に比べて長く発達した後肢の中手骨や指骨、意外と長い尻尾の骨・・・、正解はウサギの骨です。頭骨を観察してみると、木の皮や根などのかたい植物も食べられるよう長く伸びた歯が発達していることがわかります。また、目は真横に向かつてついています。これは、広い視野を保って、外敵が近づいてきたら素早く逃げるためです。しかし、視力はそれほど高くないようで、大きく伸びた耳で周囲の音を敏感に察知しながら行動しています。ちなみに、ウサギの耳に

骨はなく、根元にある軟骨と耳介筋とよばれる筋肉によって耳を支持しています。ウサギは捕食者から逃れる際に、四肢を使って走って逃げるというより、後肢を使って跳躍して逃げます。そのため、前肢と比較すると後肢の中手骨や指骨が地面を蹴るためによく発達しています。

生物のライフスタイルの変化に合わせて柔軟にその構造を変化させ、生物の進化を支えてきた骨。今回の企画展では、魚類・両生類・ハエ虫類・鳥類・哺乳類といった様々な脊椎動物の骨格を観察しながら、その進化の歴史に迫ります。骨の魅力に骨の髓まで迫る「ホネホネミュージアム」にぜひご来場ください。



企画展「ホネホネミュージアム」関連イベント

【講演会】

テーマ：骨に見る5億年の進化

講師：東京大学総合研究博物館

教授 遠藤秀紀氏

期日：2月25日（日）

時間：13時～14時30分

場所：多目的ホール

定員 300名

入場無料 申込不要

【講演内容】

からだの芯棒、骨。形が美しいとともに、動物の命を支える大切な役目を担っています。5億年の時をかけてつくれられてきた、骨の進化に迫ってみましょう。出発点は、私たち自身のからだです。



遠藤秀紀氏

【ギャラリートーク】

テーマ：脊椎動物の進化をたどる

講師：自然研究グループ

教育主任 稲葉正和

期日：3月10日（土）18日（日）

時間：13時30分～15時30分

場所：第一研修室・企画展示室

この展示案内解説は、博物館講座「大人のための科学講座」の一つとして開催します。

参加申し込みは、本紙の7ページに掲載の講座の案内をご覧ください。



ザトウクジラの肩甲骨

企画展

案外すんでる！ 身边な生き物

学芸課 自然研究グループ 専門学芸員 大西 剛

子供のころから生き物が好きだった私は、いつも虫や魚を捕って遊んでいました。ただ周りにいる生き物はいつも一緒、珍しかったヒラタクワガタやコイにも飽きてきた頃、テレビで世界の昆虫や動物を紹介する番組を見ながら「いつか自分も見に行ってみたい！」「遠くに行けば珍しい生き物に出会える！」と思うようになりました。

幸い博物館で勤めるようになってからその機会が訪れ、これまで平成24年にアマゾン川流域にあるペルーのイキトス、平成28年にはケニアのマサイマラ国立保護区を訪れることができました。

憧っていたジャングルやサバンナで珍しい動物、昆虫、魚を見ることができ満足していた私でしたが、ふと「お前は珍しい生き物ばかり追いかけているけれど、身の周りにどんな生き物がすんでいるか本当に知っているの？」という疑問がわいてきました。地方の博物館に勤める学芸員として、世界の珍しい生き物も大切だけれど、一番大切なのはこの愛媛県に生息している普通の生き物ではないのか、と悟った私は、今まで普通だと思い込みあまり興味の湧かなかった身の周りの生き物をあえて調べてみることにしました。

仕事の都合上、毎日遠くのフィールドに行くことはできないので、健康を兼ねて昼休みに博物館の周りを歩きながら、見つけた生き物を片っ端から写真撮影していくことにしました。幸い博物館は里山の中腹にあるので、上り下りは大変ですが自然環境に恵まれており、季節の移り変わりとともに多くの生き物を観察できることが分かってきました。「そちらへんにいる生き物なんて珍しくもないしつまらない」と思っていた自分が、いつしか「案外いろんな生き物がすんでるなあ～」と思うようになりました。

今回の企画展では、こうして博物館の周りを2年間約800km歩き続けて撮影した生き物たちを中心、県内に生息しているちょっと珍しい生き物を交えながら紹介します。皆さんも天気の

いい日には身近な自然を散策して、「案外いろんな生き物がいるなあ～」と思ってもらえるきっかけになれば幸いです。

ニホンザル

今回の調査のきっかけとなった動物です。実際に集団で敷地内のクスノキの実を食べたり、電線を伝って逃げる姿を目の当たりにし、こんな近くに野生動物がいるものだと驚かされました。

(2016.5.25)



イノシシ

土をほじくってミミズを食べた跡や泥浴びをした形跡は見たことがありましたが、姿を撮影したのは初めてでした。子イノシシだったらしく数日同じ場所に居ましたが、山に帰っていました。(2017.2.16)



ノスリ

ノスリにちよつかいを出すカラス。強いものに対して弱いものが疑似攻撃するモビングと呼ばれる行動です。(2017.11.28)



ブルーギル

在来種を手当たり次第に食べてしまう厄介者の外来魚ブルーギル。魚だけでなく落ちてきたカマキリの幼虫もあつという間に丸呑みにされました。(2017.6.16)



アゲハチョウ

1匹のメスをめぐって何とか交尾しようと争う2匹のオス。メスは迷惑そうですがオスはお構いなしです。(2016.8.31)



カブトムシ

カナブンをしり目に悠々と樹液を吸うカブトムシ。博物館の裏山にクヌギやコナラなどを植えたおかげで姿を現すようになりました。(2017.8.9)



カワセミ

渓流の宝石のイメージがあるカワセミですが、ため池など案外身近な場所にもすんでいます。博物館の裏の池にも時々姿を見せます。(2016.12.18)

活動報告



企画展「東予産業遺産」10/7 (土)～11/26 (日)

●産業遺産という耳慣れない事柄を、写真、パネル、ジオラマ、实物展示や講演会、高校生による展示解説などでひも解いていきました。先人の知恵と努力にみなさんと一緒に驚いていらっしゃいました。



「開館記念イベント」

11/5(日)

●この日は開館記念日ということで常設展の観覧料が無料に。エントランス地下一階からは東京オペラ協会の方々の歌声が響き渡り、たくさんの方が聞き入りました。また、恐竜体操 Special は大賑わいでした。カハクンも登場しました。



企画展「体験！エネルギーーワールド」

12/9 (土)～1/28 (日)

●身近な生活に使われている様々なエネルギーを、見て動かして感じてもらう体験展示を行いました。ミニSL坊っちゃん列車の



乗車体験やエネルギー体験教室、夢のエネルギーを考えるイラスト作品展も行いました。



「サイエンスナイトミュージアム 2017」12/23 (土・祝)～25 (月)

●毎年恒例のライトアップやディナーバイキング、ナイトミュージアム、星空ライブコンサート、スノードームやクリスマスリースのワークショップなどを行い、ふだんの博物館とは違った雰囲気を味わってもらいながら、楽しいひとときを過ごしていただきました。





「新春！初科学 2018」

1/2(火祝)～8(月祝)

●新年早々からたくさん的人がおいしください、大変賑わいました。年末に引き続いてスーパーサイエンスショーが開催され、大きな空気砲を間近に体験できました。「化石発掘をしよう！」では、家族やグループで木の葉の化石を夢中になって発掘しました。プラネタリウムでは奄美の星空を解説しながら、奄美三味線の演奏とコラボしました。



これからイベント

※詳細は HP または館内掲示をご覧ください。



みんな集まれ！わくわくサイエンス広場…期間：2月3日（土）～4日（日）

●親子で一緒に実験や工作を体験することで、科学の不思議、楽しさを感じることができる参加体験型の科学イベントです。

●「スライム作り」「からふるイクラの万華鏡をつくろう」など、楽しい実験・工作ブースがいっぱい！また、「ミニSL運転会」や「エレクトロニクスで遊ぼう！」「電気自動車・PHEV試乗体験」科学について自由に語り合う「サイエンスカフェ」なども行います。



春の特別イベント…期間：3月24日（土）～25日（日）

●2日間限定で、普段近づくことができない実物大の恐竜ロボットの隣で記念撮影を行うことができます。そのほか、ワークショップ「恐竜段ボールクラフトを作ろう」も開催します。

●3月17日（土）よりプラネタリウム新番組「ワンピース プラネタリウム」が投影開始です。

博物館講座参加者募集 2月 3月

◆大人のための科学講座

④”企画展「ホネホネミュージアム」ギャラリートーク”脊椎動物の進化をたどる

[A]3/10(土)[B]3/18(日) 13:30～15:30

■場所…第1研修室、企画展示室 ■定員…20名

■参加費…50円 ■応募締切…2/23(金)

■対象…高校生～大人(子どもの同伴可)

※受講は一回のみです。希望日(AかB)を選んでください。

◆科学工作教室

⑤動く!飛び出す!ビックリしあげカードをつくろう

3/3(土) 13:30～15:30

■場所…科学工作室 ■定員…20名 ■参加費…250円

■応募締切…2/16(金) ■対象…小学1年生以上(小学1・2年生は保護者同伴、保護者の申し込みが必要)

◆かんたん工作教室

3/11(日) 13:30～15:30

※かんたん工作教室は申込不要です。当日博物館へお越しください。

申し込み方法

往復はがき FAX

博物館ホームページ「参加する」のフォーム

のいずれかに、下記の事項を明記して博物館までご応募ください。

①希望講座名、開催日 ②希望者全員の氏名、年齢(児童・生徒は学校名と学年) ③住所、電話番号 ④返信先FAX番号またはメールアドレス(FAXまたはインターネットでお申し込みの方のみ)

※1通につき1講座5名までお申し込みできます。

※定員に満たない場合は、申込締切後も受け付けます。

※応募多数の場合は抽選で決定し、全員に結果をお知らせします。

※応募の際の個人情報は、博物館講座に関する連絡以外の目的では使用いたしません。

申し込み・問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、お気軽に博物館までお問い合わせください。

愛媛県総合科学博物館 企画普及グループ

〒792-0060 新居浜市大生院2133-2

電話 0897-40-4100 FAX 0897-40-4101

<http://www.i-kahaku.jp/>

学び舎
えひめ

は学び舎えひめ 悠々大学の登録講座です。

詳しくは、愛媛県生涯学習センター学び舎えひめ悠々大学事務局(089-963-2111)、または、<http://www.i-manabi.jp/system/manabiya/index.html>をご覧ください。



プラネタリウム番組のご案内

「大恐竜時代」

大恐竜時代
恐竜バッヂの大冒険

©2012 OLIVE STUDIO,EBS,DREAM SEARCH C&C

過酷な環境の中、戦いを通して成長していくタルボサウルスのパッチ。パッチは宿敵であるティラノサウルスのレックスから自分の愛する家族を守れるのか??

※詳しい投影スケジュールはHP等をご確認ください。

「銀河鉄道の夜」



©KAGAYA studio

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の幻想世界を、徹底考察し鮮明に再現。プラネタリウムのドームいっぱいに広がる銀河のパノラマ風景をお楽しみいただけます。



重力ってじゅう力?不じゅう力?



「重力」って知ってる?リンゴが落ちる力?みんなの体重のもと?

一体どんな性質の力なの?そのヒミツを実験で解き明かしましょう。

「重力」は私たちが生まれた時からずっと感じ続けてるので、無意識のうちに体にしみこんでいる重力の記憶や感覚も調べてみましょう。

※右の写真は、真空中の同じ速度で落ちていく風船と鉄球の連続写真を合成したものです。



■開演時刻 (実演時間 約25分) ※常設観覧券が必要です。

	1回目	2回目
1/19～ 4/8	金曜日・春休み平日 13:00	—
土日祝日	13:00	15:00

期間: 平成30年1月19日(金)～4月8日(日)

場所: 博物館展示棟3階 科学技術館 実験ショーコーナー

博物館 友の会 Supporting Membership of the Museum

平成30年度会員募集中!

◇会員の特典

□常設展・プラネタリウムに無料で入場できます

特別展などの入場については、その都度定めます。

□友の会会報や博物館だよりをお届けします

友の会会報と博物館だよりのほか、友の会や博物館のイベント情報もお届けします。

□友の会が主催する講座や行事に参加できます

天体観望会や科学工作、研修旅行など、楽しいイベントを開催します。

■友の会事務局

電話・ファックス 0897-40-4115

年会費(4月～翌年3月)

[小中学生会員]	500円
[高校生会員]	1,000円
[大人会員]	3,000円
[家族会員]	4,000円
[賛助会員]	10,000円

※10月以降の入会は、上記の半額になります。(賛助会員は除く)

Volunteer of the Museum

博物館ボランティア

かはくボランティア募集中!

◇活動日時

主に、博物館内イベントなどに合わせて活動をしています。

◇対象

博物館でのボランティア活動に興味を持つ高校生以上の方

※1年更新の登録制です

登録方法

○ホームページ「かはくボランティア」のフォームより

○登録用紙に必要事項を記入し、郵送、来館持込、またはFAXで

※高校生は郵送、来館持込み受付

【郵送先】

〒792-0060 新居浜市大生院2133-2

愛媛県総合科学博物館

【FAX】 0897-40-4101

■お問合せ

愛媛県総合科学博物館 企画普及グループ 0897-40-4100(代)

利用案内

●開館時間

午前9時から午後5時30分まで(展示室への入室は午後5時まで)

●観覧料

□常設展示

観 覧 料	
大人(高校生以上)	510円(410円)
65歳以上の方	260円(210円)
小・中学生	無料

※()内は20名以上の団体料金

□プラネタリウム

観 覧 料	
大人(高校生以上)	510円(410円)
65歳以上の方	260円(210円)
小・中学生	260円(210円)

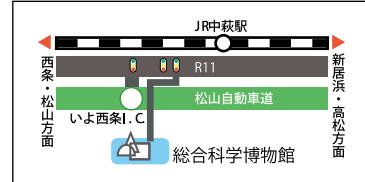
※()内は20名以上の団体料金

●交通案内

□松山自動車道いよ西条ICから5分

□JR新居浜駅、伊予西条駅からタクシーで15分
せとうちバス(西条～中萩～新居浜線)で20分

□無料駐車場(乗用車320台、大型バス8台)あり



2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

休館日

■臨時休館日 ●特別イベント(予定)